

さらなる飛躍を目指し、100年企業へ

ENISHI

未来の街を見る、積算という仕事

ENISHI's story



株式会社 縁

Enishi C.M Office

登場人物紹介

ひろ
大変だこりや

建築の見積りを
専門で請け負ってる
会社なんであるんだ？



尾形
翔一

(おがたしょういち)

大樹の幼なじみで、
大学も同じ。大樹に
株式会社縁の事を
教える。



関
智弘

(せきともひろ)

大樹の先輩(10歳上)課長代理。
OB訪問の際に、積算の魅力は？
という大樹の問いかけに
「未来の街が見えるってことかな」
と答える。

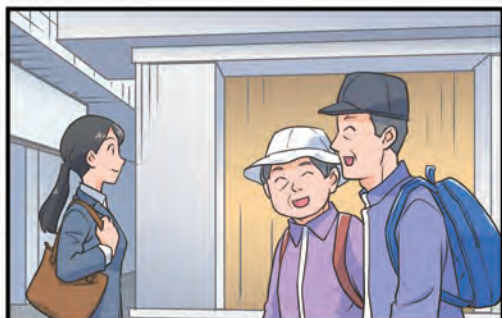


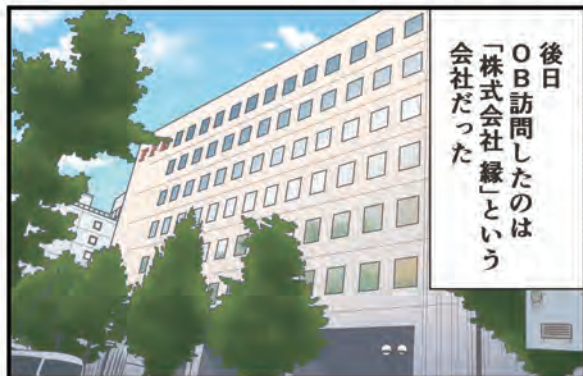
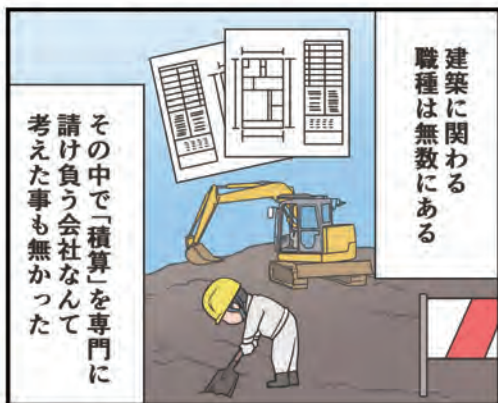
日野
大樹

(ひのたいき)

縁の新入社員。関の
「街の未来を見る」と
いう言葉の意味を
探している。

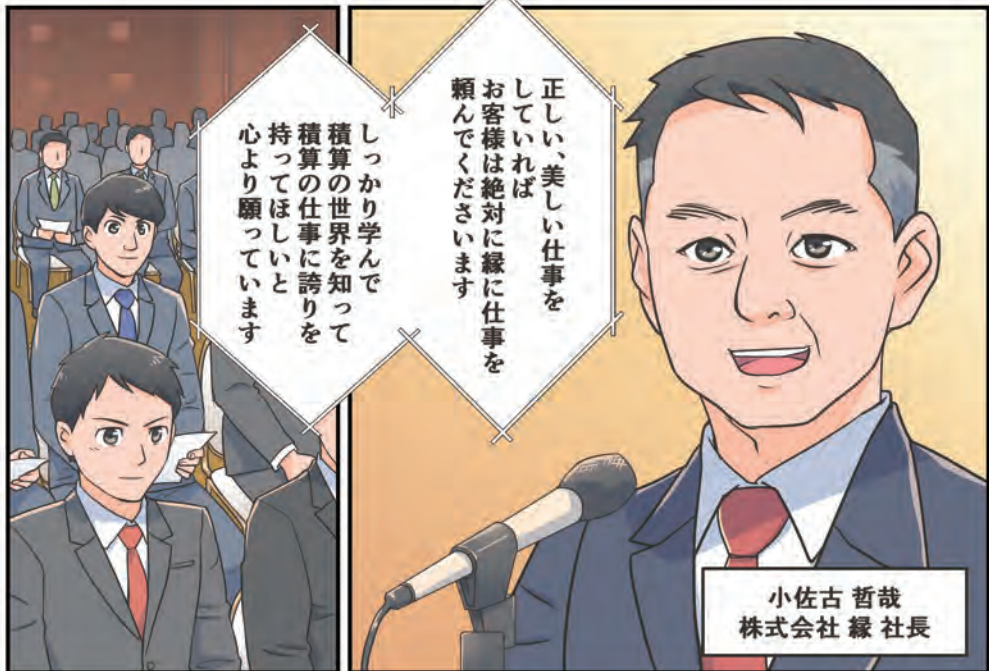
















実務になれば
求められる速さは違う
とはいえ正確性を
落とすことはできない

覚えていたはずの
用語の意味が
出てこない事も
度々あり

新しい素材や施工方法も
常に勉強する必要がある







積算という仕事に
魅了されていた



こうしてボクは
先輩や同僚に
助けてもらいながら



そして月日は流れ



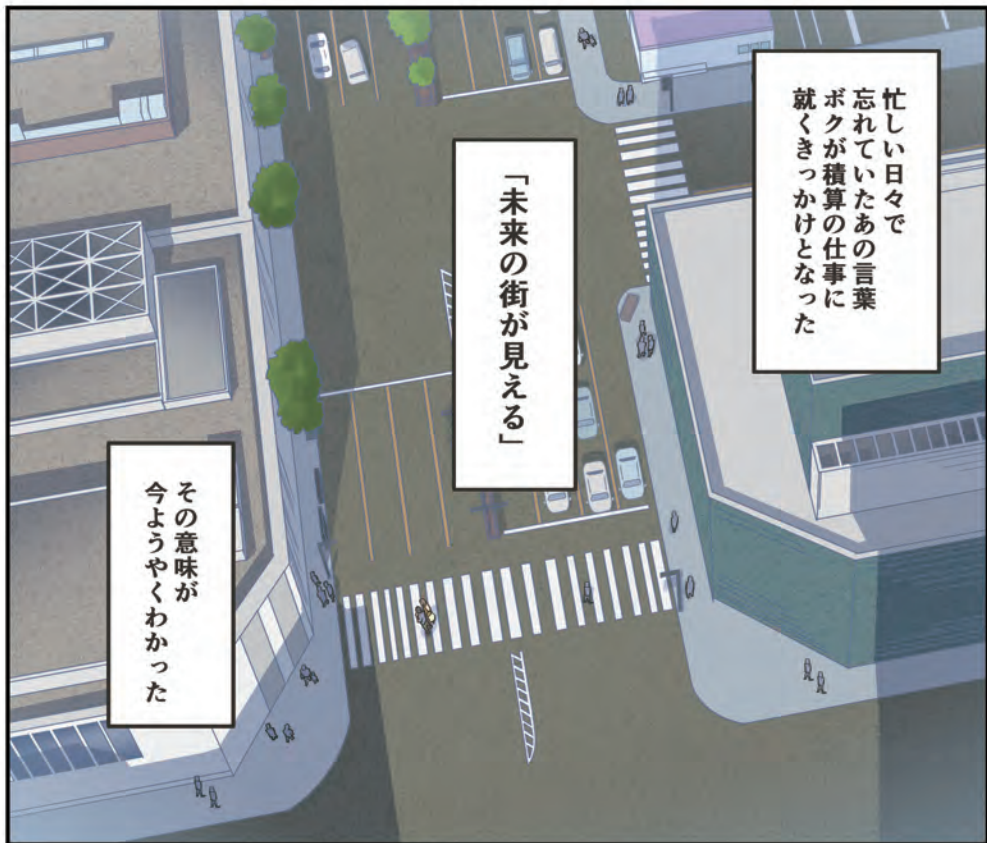


ココにあった



あの時
思い描いていた
未来の街が

この景観の建物は
むかし仕事で建設に
関わったんだよ



忙しい日々で
忘れていたあの言葉
ボクが積算の仕事に
就ききっかけとなった

「未来の街が見える」

その意味が
今ようやくわかった